

平成21年度
大学職員情報化研究講習会 ～基礎演習コース～
グループ討議課題

『履修革命』

～学生のモチベーション向上の為に～
“科目の見える化”を実現する

B班 履修革命児

1. 問題提起

“学生の大学離れ”

→せっかく入学した大学に来ない学生が増加傾向にある。

なぜか？

- 事務の効率化を追求した便利なシステム、整備され過ぎた？システム
ex)携帯からの履修登録、掲示板閲覧、...
- 友達ができない、準引き籠もり
- 基礎学力の低下、講義についていけない
- 履修登録の失敗、思った内容と講義内容が違う
- 履修する科目が今後どのように生きるのかが見えてこない
- 科目間の関係性が見えてこない

(目標)

→ 学生に大学に来てもらいたい
学生の満足度を上げたい

革命中

2. 解決策

「学生の“学ぶ”モチベーションを向上させ、
大学に戻ってきてもらう。」

→ 学生生活のスタートである履修登録において、学生の興味・
ニーズに応じた上手な履修を支援し、つまづきを解消する。

→ 具体的には？

- ・ 科目の内容を『見える化』し、履修登録前に学生の理解を深める。
 - － “MIMA Search”の活用
 - － “科目紹介PV”の制作と公開

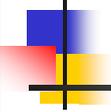
革命中

3. 具体的取り組み

■ **PLAN**

- ・ 教員による“MIMA Search”の活用
 - 科目・講義内容の見直しと位置づけの再確認
 - 身につくことが期待される能力および就職実績と履修モデルの作成・提示
- ・ 学生の“MIMA Search”の活用
 - 科目間関係性のイメージ把握(『見える化①』)
- ・ 「科目内容詳細説明」、「科目間関係性説明」、「ミニ講義」をデジタルコンテンツ化して “科目紹介PV”を制作して公開(『見える化②』)
 - 履修した学生の協力を得る(感想や評価など)

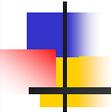
革命中



■ **DO**

- ・履修登録実施
 - MIMA searchを使用し、自らの履修状況を体系的にとらえる。
- ・講義出席
 - もし、どうしても科目内容が合わなかった場合は、「履修取り消し・追加」を許可
 - 受講できなかった講義内容については“e-Learning”で補う。

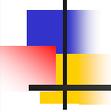
革命中



■ **CHECK**

- ・履修状況および出席状況の測定(量的)
- ・学生満足度の測定(質的)
 - 講義評価(前期・後期、各々の期末にアンケート実施)
 - ex) Webによる講義評価アンケート

革命中



■ **ACTION**

- ・アンケート結果のフィードバック
教員に対してアンケート結果をフィードバックし、教員は以後の科目・講義の見直し、改善をする。
- ・次年度の履修検討(学生)
講義評価アンケートを大学HP等で閲覧し、MIMA Searchで確認した単位取得状況をもとにして、次年度の履修科目の検討を行う。

革命中



4.期待できる効果

- 科目への理解が深まる
→履修する科目の関係性が見え、今後どのように活きるのかが見えてくる。
- 履修の**ミスマッチ**の減少
→学生が本当に受けたい講義を見つけられる
- 講義内容の質の向上

すると…

革命中

大学に学生が戻ってくる!!!

革命完了
この戦いはつづく……

ご清聴ありがとうございました。

2009/7/8
履修革命児一同